

一般財団法人天涯文化財団  
2025年度(第8期)事業計画書  
自 2025年11月1日から 至 2026年10月31日

## 1. 事業実施の方針

第8期の事業計画につきまして5周年を迎えた盛田昭夫塾では新規の来館者、団体客の増加を図ります。前期に導入した音声ガイドを活用しリピーターの方にもより深く展示内容をご紹介するとともに英語・中国語音声ガイド、英語テキストを活用しインバウンドの集客にも注力してまいります。

鈴渓資料館では引き続き学芸員・財団スタッフによる鈴渓資料館新倉所蔵品調査を月1回実施し、日本福祉大学知多半島総合研究所の研究成果も合わせ定期的な展示入れ替えを進めていきます。

Akio Morita Club+(AMC プラス)では元ソニー(株)旧国際企画部メンバーシリーズに続き旧秘書室メンバーやビジネス以外で関わりのあった方々からの声を集めた短編を毎月配信してまいります。

「盛田味の館」と共催の音楽イベント「日本酒と音楽のテロワール」を3月・10月に開催します。

日本福祉大学知多半島総合研究所と共に「第7回知多半島歴史文化研究発表会」を10月に開催します。

事業推進及び維持の為、寄附金受入に係る環境整備(申込書・WEB・札状等)を進めてまいります。

引き続き理事・役員の皆様のご支援ご協力何卒よろしくお願ひします。

## ■今年度重点施策

1. 鈴渓資料館の整備及び古文書等の研究促進と成果発表の実施  
(紙倉、新倉所蔵品の調査・資料調査・研究発表会の実施)
2. 盛田昭夫塾運営、イベント企画・展示の充実、集客の促進  
(インバウンドを含む新規来館者確保のための広報活動の強化・団体客対応強化・音楽イベントテロワールの開催)
3. Akio Morita Club(AMC) プロジェクトの推進  
(盛田昭夫から多大な影響を受けた者たちの生の声を集めた映像ライブラリー、昭夫が遺した経営哲学と人間性を浮き彫りにします。AMC プラスの配信)

## 2. 事業の実施に関する事項

- (1) 知多半島及び盛田家に由来する古文書、典籍等の研究、研究成果の公開
  - ・盛田家に残された近世初期からの古文書、典籍等を分類・整理し目録を作成する。  
(日本福祉大学知多半島総合研究所との協業により実施)
  - ・鈴渓資料館にて古文書、典籍等及びその成果を一般公開する。  
(常設展示に加えテーマごとの企画展示を随時開催、年1回愛知県内にて発表会を実施)
  - ・インターネット、SNSを活用し研究成果を世界に発信する。  
(国際空港隣接の常滑が海外からの文化・民族研究者が集まる場になることを目的とする)
- (2) 盛田昭夫顕彰事業
  - ・盛田昭夫塾を開館し、盛田昭夫に関する資料の収集、研究を行い、その成果を一般公開する。
  - ・盛田昭夫の残した文書、映像、品々、盛田昭夫に影響を及ぼした人々に関連するセミナー及びワークショップを行う。

(盛田家15代当主に生まれながらソニー創業者となった盛田昭夫の生き様に触れられる「盛田昭夫塾」を開館。見るだけでなく「学べる場所」として未来人のパワースポットとなることを目指す)

※ 第8期予算案につきましては10月11日理事会時に提示させていただきます。